

窒素 (不燃性ガス 無色・無臭)

分子式	N ₂	分子量	28.01	容器の色	ねずみ色
用途	アンモニア、硝酸、シアン化合物などの原料、電球封入ガス用、タイヤなどへの充填用、電子工業用、爆発防止用不活性ガス、食品急速冷凍用				
該当法規	高圧ガス保安法				
物理的性質	<p>不燃性の無色、無臭のガス</p> <p>比重：0.967</p> <p>沸点：-195.8</p> <p>液比重：0.808 (-195.8)</p> <p>大気中に最も大量に含まれる気体で、大気中の濃度は、地上でおよそ78%。</p>				
化学的性質	<p>常温では化学的に不活性であるが、高温では酸素と化合して酸化窒素する。また、高温・高圧では触媒があると水素と化合してアンモニアとなる。</p> <p>ハロゲンとは直接に化合しないが、間接に得られる化合物は非常に不安定である。</p> <p>金属とは高温で化合して窒化物を作る。(Mg₃N₂、CuN₂など)</p>				
注意事項	<p>液化窒素</p> <p>皮膚に触れると数秒で凍結を起こす。</p> <p>一部の炭素鋼などある種の材料を脆化させる。</p> <p>蒸発すると大量の窒素ガス(体積約700倍)となるので、少量であっても漏えいに注意する。</p> <p>密閉したり、換気の悪い場所に置いたりしない。</p> <p>長時間空気と接触すると空気中の酸素を液化・濃縮し、液化酸素を発生させるので、液化酸素に対するのと同様に油脂類や可燃物が付着しないように注意する。</p>				

窒素（不燃性ガス 無色・無臭）		
事故時の措置		
消火方法		処理剤
漏えいしたとき	<p>バルブを閉めるなど、漏えいを止める。</p> <p>容器からの漏えいが止まらない場合は、通風のよい場所に移動する。</p> <p>施設からの漏えいが止まらない場合には、通風をよくして事故の発生を大声で告げ、避難させる。</p>	
火災のとき ・ 周辺での火災のとき	<p>不燃性なので火災の危険はない。</p> <p>周辺での火災のときは、容器を風上の安全な場所に移動する。移動できない場合は、容器及び周囲に散水する。</p>	
救急処置	<p>凍傷になった場合、まず凍傷を起こした部分の衣服を取り除く。次に患部を冷水で徐々に暖める。患部が常温に戻り、更に熱を持つ場合は冷水で冷やす。ガーゼなどで患部を保護して医師の処置を受ける。</p> <p>凍傷の主な症状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感覚が無くなり、黄色いろう質状になる ・暖まると、水ぶくれができる <p>痛みが出て患部を絶対にこすらない（化膿しやすくなる）</p> <p>眼に噴出ガスを受けた場合は、冷却しすぐに医者処置を受ける。</p> <p>酸素濃度 25% 以上の酸素を呼吸すると有害となる場合がある。</p>	
特記事項 (人体に対する影響)	<p>純粋な窒素自身には毒性はないが、濃度が高くなると単純窒息性の危険がある。</p>	
緊急通報例 119(消防署)	<p>1 どこで 市 町 番地 (株) 工場で</p> <p>2 なにが 「不燃性の窒素ガス」が</p> <p>3 どうした 「漏れています。」 「消防車出動をお願いします。」</p> <p>4 時間は 時 分 頃 です。</p> <p>5 けが人は 「けが人がいます。救急車出動をお願いします。」</p> <p>6 私の名前は 工場 課の です。</p>	